

News Release

日本工営 ペルー共和国アマソナス州における道路改良事業を受注 -日本初の政府間（G2G）契約、既存地方道路を対象に道路改良事業を推進-

ID&E ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：新屋浩明）傘下の日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金井晴彦）および中南米工営株式会社（地域ハブ：パナマ国、代表取締役社長：下坂雅信）の共同企業体（以下、JV）は、政府間（Government to Government：G2G）契約スキームを用いた、「ペルー共和国アマソナス州第4幹線道路軸建設技術支援業務」に関し、2023年11月に契約内容合意に至り、2024年5月14日にアマソナス州チャチャポヤス市にて署名式が行われました。

ペルー共和国北部のアマソナス州は、豊富な観光資源を有していますが、ペルー共和国内の他の観光地と比較しても基礎インフラ整備は遅れています。また、アマソナス州はペルー共和国でも貧困率の高い北部4州の1つで、貧困・所得格差問題に対応するための総合的な地域開発も求められています。道路整備に関しては、文化遺産や自然資源を保護しながら、地域住民とも共同して行っていく必要があります。特に、観光客の移動、住民の生活を支える基盤として、道路交通の重要性は非常に高く、未舗装地域の舗装や物流の改善をしていく必要があります。

本事業全体は、アマソナス州の既存地方道路（214km）を対象とした拡幅・舗装化・線形改良等を含む道路改良事業であり、道路線形レビュー、詳細設計、施工ならびに監理の3フェーズに区分されています。本JVは、それぞれのフェーズにおいて、入札支援含めたプロジェクトマネジメントを行います。

政府間（G2G）契約とは、ペルー共和国の公的機関が他国の公的機関と覚書を締結し、他国の公的機関が自国企業を中心に構成されるプロジェクトマネジメントオフィス（以下、PMO）を形成し、これに、施工業者等の調達、契約マネジメントおよび技術コンサルティングを委託する^{※1}スキームです。同スキームを用いることで、大規模かつ複雑なインフラ整備事業が、迅速かつ透明性をもって遂行されるとともに、外国政府や企業によるプロジェクト管理や技術的ノウハウの共有も期待されています。

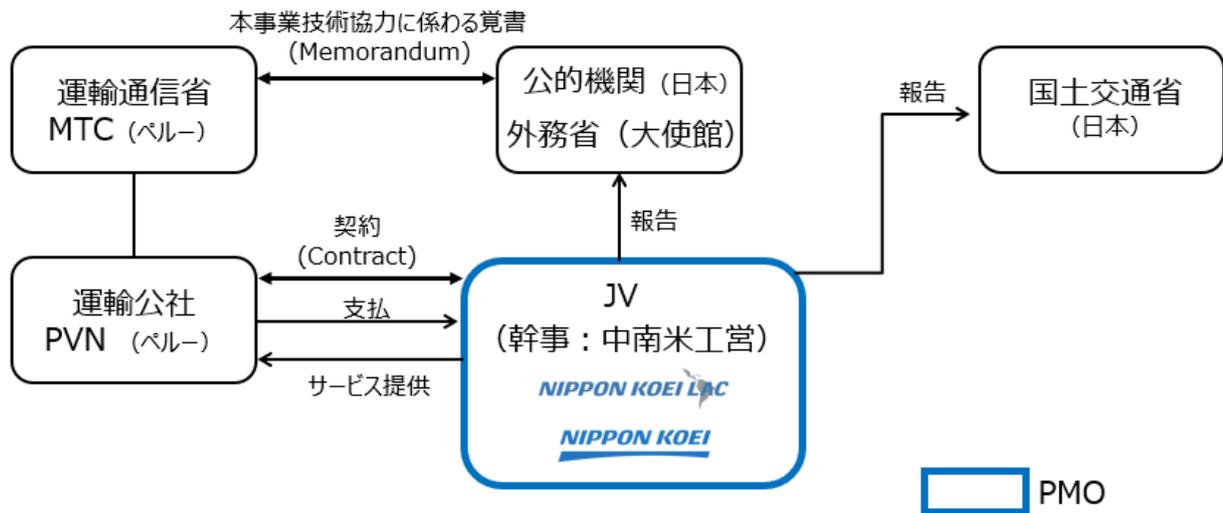
なお、これまで、イギリス、フランス、カナダ、韓国等がG2G PMO契約を締結していますが、日本としては本件が第一号となります。

※1 PMOの実際の契約相手はペルー共和国側の事業実施機関となります。

■本事業の概要

案件名称：	ペルー共和国アマソナス州第4幹線道路軸建設技術支援業務
実施機関：	ペルー共和国道路公団（PROVIAS NACIONAL：PVN）
事業スキーム：	政府間（Government to Government：G2G）契約スキーム
区間：	3工区（計約214km）：ドウラン橋－ワウイコ橋（61km）、ワウイコ橋－サンタ・マリア・デ・ニエバ間（83km）ヌエボ・シアスメ－サラミサ間（69km）
業務実施体制：	中南米工営（幹事）、日本工営の2社JV
実施期間：	70ヶ月（フェーズ1～フェーズ3）
契約金額：	35.7億円（中南米工営：30.6億円、日本工営：5.1億円）*USD 1 = 155円で換算

■ 本 G2G スキーム事業における主要プレイヤーの関係性



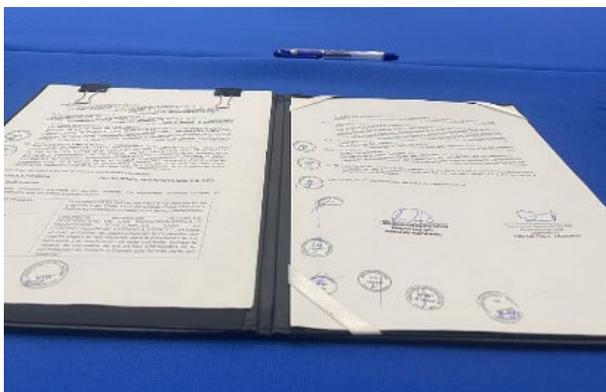
■ 署名式の写真



山元毅駐ペルー特命全権大使 (右から3人目)
ラウル・ペレス・レイェス・エスペホ ペルー運輸通信大臣(左から2人目)



右から 日本工営 高橋義和執行役員中南米担当、
中南米工営 アレハンドラ・テージョ アンデスリージョン統括部長、
下坂雅信社長、ダビッド・バレンスエラ・チリノス ペルー事務所所長



署名式の様子

— 本件に関するお問い合わせ先 —

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室
TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>